医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	当院における単一凍結胚盤胞移植後 13.14 日の妊娠判定時の hCG 値の予後予測
研究責任者	産婦人科　織田愛実
研究実施体制	聖隷浜松病院　産婦人科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日　～　2027 年　3 月　31 日
対象者	2022 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に聖隷浜松病院生殖機能医学科で凍結融解胚盤胞移植後に、hCG が検出された患者さん
研究の意義・目的	胚移植後、妊娠判定時の hCG 値は予後予測に有用という報告が多数ありますが、採血日や移植プロトコールにより異なります。特に、凍結胚盤胞移植後 13 日、14 日目(BT13,14 日)の妊娠判定の hCG 値に関する研究は限られています。当院では BT13 もしくは BT14 に妊娠判定を多く行っており、その hCG 値が生児獲得などの予後予測に有用かどうかを調査します。
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 採卵時年齢、不妊因子、移植周期の内膜調整方法、移植回数、胚のグレード、胚盤胞到達日、妊娠判定日、妊娠判定日の hCG 値、生児獲得・流産・生化学妊娠などの転帰 上記データを用いて、非線形回帰分析や ROC 解析を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院　産婦人科　　(氏名)織田　愛実 TEL:053-474-2222(代表)　生殖機能医学科外来　9:00～17:00　平日

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会

(研究承認番号：　5323　)　　2026 年　11 月　18 日承認